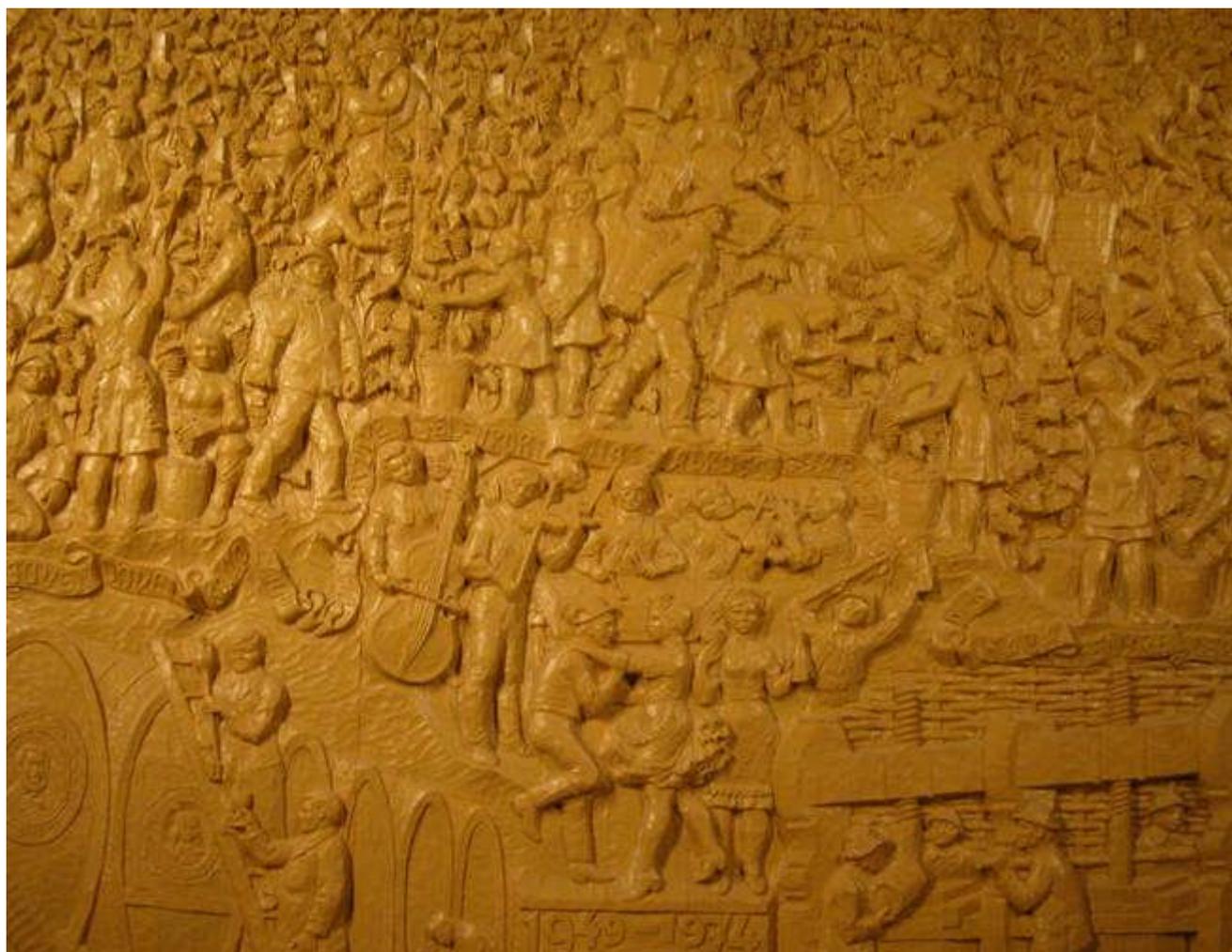


ガイドブック

ブダペスト 22区



ハンガリーの最大の木彫りの樽：“畑からワイン祭りまで”「聖イシュトバーン樽、ブダフォク」

基本情報

ブダフォク テーテーニは首都のブダペストの南部、ドナウ川の東側にある。都市は4つの部分に分かれている。

(ブダフォク、ブダテーテーニ、ナジ・テーテーニ、バロシュ・ガーボル-テレプ)

(ガイドブックの終わりの地図を見てください)

22区はテーテーニ高原からドナウ川までかかる地域に位置している。



名前の由来：マジャル人は896年に7部族の7人の族長達に率いられてこの地に定住した。

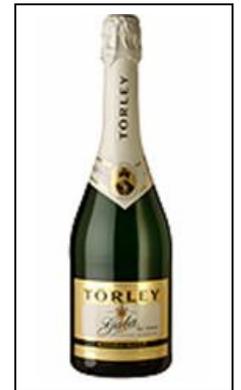
この7人の1人、(Töhötöm という族長)は今のブダフォクの地に住み着いた。それでこの町にこの名がついた。

ブダフォクは緑が多く、庭付きの家もたくさんある。

人口密度：1491人/km² (2003年現在)

ブダペスト22区の歴史

この地方は昔から人間が住んでいた。1世紀の終わり頃ローマ人が来て、現在のオーブダ地区に「アクインクム」と呼ばれた町を作った。これはローマ帝国領のパンノニア州の首都だった。今のナジ・テーテーニには大切な軍の基地を作った。この基地の名前はカンポーナ(Campona)と言う。(それで今、22区にある大きい近代的なショッピングプラザにはこの名がつけられている。)その後、マジャル人が定住したとき、テヘテム(Töhötöm)と呼ばれる部族長がこのナジ・テーテーニの地方に住み着いた。ブダフォクの本当の歴史は15世紀に始まった。1698年のトルコ占領後に、この地方はサヴォヤイ・ヤェノー(Savoyai Jenő)公爵の私物になった。この時この地方はプロモントルと呼ばれ、主にブドウ畑が広がった。このためこの地域は昔から高いワイン文化の町として知られている。しかし、18世紀の終頃にフィロクセラと言う疫病のため、ブドウ畑のほぼすべてが破壊されてしまった。このとき、ブダテーテーニとナジ・テーテーニはそれぞれ独立した町となり、庶民の家と高級住宅が別の場所に建てられた。20世紀の初めには産業が発展し、ビール工場、シャンパン工場、マッチ工場などが設立された。18



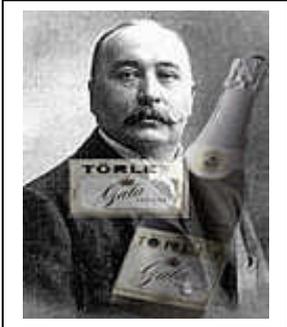
86年に町の名がブダフォクに変わり都市化した。ブダフォクは20世紀に重要なワインとシャンペン工業の中心となり、今もトルレイシャンペン工場がととても有名である。ワインが国全体からここに送られてくる。この工場のワインセラーはきれいな木彫りしたバレルで飾れている。

有名なトルレイシャンパン

ハンガリーのワイン工場設立25周年を記念して作られた巨大な樽(表紙参照。)

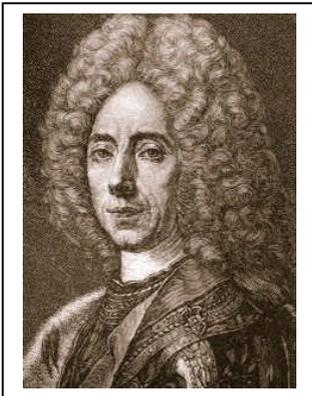
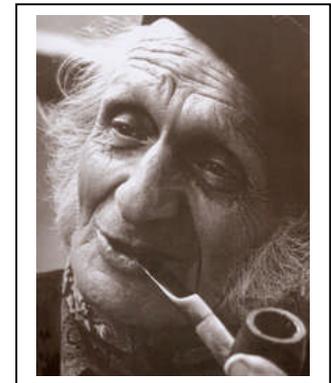


22区の有名人達



トルレイ・ヨーゼフ有名な工場は彼のものだった。それで、トルレイシャンパンの名がつけられている。

ウェーン・エミル(1902-1984)は有名な画家だった。彼の絵はとても印象深い作品で、独特の表現力を持っていた。



サウォヤイ・ヤエノー公爵
彼は17世紀にトロク軍と戦った。
ゼンタでの勝利が有名である。

名所

Barlanglakások- 洞くつの住家

洞くつは人々にとって長い間に、住居でもあり、自然影響を守る所でもあった。人々は岩や土を彫ってうちにしてそこに住んでいた。



ブダフォクの周辺にはそのような洞くつの住家がたくさんあった。1996年にその洞くつの住家の大部分を閉鎖した。最近、一つ残して、それを博物館にしている。博物館は毎週日曜日だけ開いている。

住所：1222 Budapest, Nagytétény, Veréb u. 2-4.

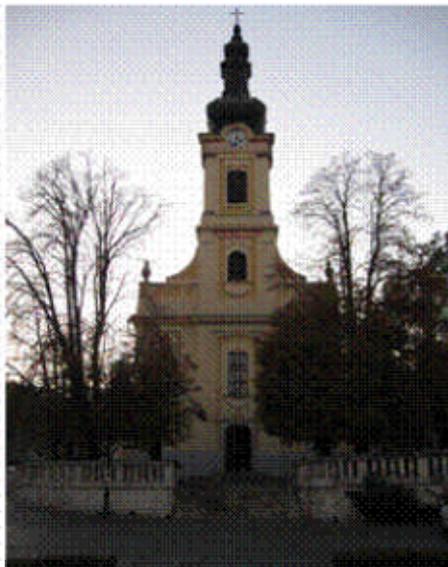
電話：1/226-8634

行き方：

バス(114、214、213、33E)あるいはトラム(47番)でサウォヤイ・ヤエノー広場へ行き141番のバスに乗り替えて、セーチャーニ通りで降りて、そこからメゾー(mező utca)との交差点まで歩いて行って、右にまがって、ウエレブ通り(Veréb utca)に行くとある。バス停から博物館まで歩いて5分ぐらいかかる。



Szt. Lipót - Plébániatemplom 聖リポート教会



聖リポート教会は1775年にバロック様式で建てられたが20世紀始めに改修した。教会の高さは43メートル。正面には二つの像（聖ウェンデルと聖フロリアーン）があり、内部にある大理石の祭壇と聖リポートが描かれている。絵画はマリア・テレジア女王から与えられた。

行き方：町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：47番（始発：デアーク広場）などの交通機関でサウォヤイ・ヤェノー広場まで。

Budafok a "Bor Városa" 「ワインの町」ブダフォク



最近毎年ワインやシャンペン祭りが開かれている。この時コシュート通りにはたくさんの店が出て、伝統的な色々な古い食べ物が味わえる。22区のワインセラーは合わせて100キロ程ある。ワインセラーの高さは3-4メートル、幅は6-8メートルである。



これらの商店には民族衣装を着た人々が色々な伝統的な作品も売っている。道の真ん中にステージがあり音楽を聞きながら色々な演し物を見ることができる。例えば武術の出し物やおどりのだしものなどである。その祭りは、若者を始め年をとった人、子どもと両親など皆が楽しみにしている。人々はワインをチビチビ飲みながら時間を楽しくすごす。この祭りは一見の価値がある。ブダフォクのワイン祭りは毎年一回、9月ごろに行われている。日付は毎年変わる。

行き方：町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：47番（始発：デアーク広場）などの交通機関でサウォヤイ・ヤェノー広場まで。

A Törley - kastély トルレイ城郭



ブダフォクで特に印象に残る建物は前世紀の始めに建てられたトルレイ城郭である。建築家は中世時代のフランスのお城の模型に、大きな城郭を設計した。最近、博物館や図書館になり、ここにはハンガリーの放射線生物学（ほうしゃせんせいぶつがく）研究所がある。

行き方：町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：47番（始発はデアーク広場）その交通機関はなんでもいい。サワオヤイ・ヤェノー広場で降りて、そこから歩いて5分ぐらいかかる。バス停からちよつともどってトルレイ広場に行き、そこで左にまがる



とも
う
ト
ル
レ
イ
城郭が見える。



テーテーニ高原、カマラ森



22区には豊かな緑、自然環境を保護された地域などが多い。その中でもテーテーニ高原は特に美しく必見である。

その高原には保護された植物や動物も見ることができる。



・ホモキキケリチ アタランタ 蝶々



高原の一箇所には猫や犬や、狼やホワイトタイガーがいる。それは森を散歩する時の、楽しい見所である。ハイキングを好きな人にはカマラ森が最高！でしょう。森の真ん中に小さな草原があり、晴れた時に人々がたくさん集まる。遊ぶ所もあって、子供にとっても楽しいだろう。カマラ森には古い基地の残りや展望台もある。行き方: 車で国道7号線をエールドの方に行き、B p.板をすると右の方にある。(銅像公園の隣にある。)

Szoborpark 銅像公園

この公園には1989年の社会体制転換後に社会主義の像を集めてつくられた。像を壊したくなかったので、町の郊外の国道7号沿いに公園が建てられて、観光名所になった。

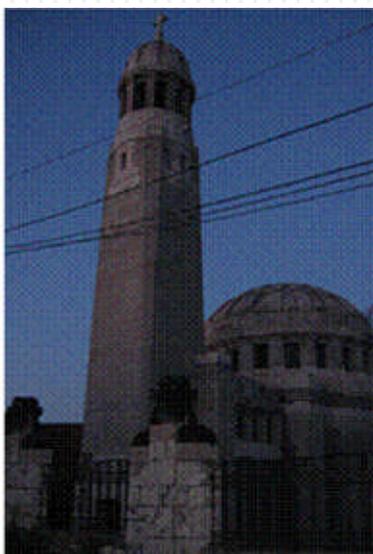


公園にある41体の像の中でたぶんスターリンのブーツが一番面白い。スターリン像はかつてドージャジョルジョ通りに立っていたが、ハンガリー革命(動乱)の時に市民によって倒された。



行き方:

国道7号線をエールド方面に行き Bp の看板をすぎたら右手にある。



A Törley - Mauzózeum トルレイ・マウゾーレウム (記念館)

22区には前世紀の遺跡があまりないが、トルレイ・マウショゾーレウムはとても珍しい。これはトルレイ・ヨーゼフの死後、妻が建てた記念館である。アールヌーヴォースタイルの建物は東洋スタイルのモチーフで豊かに飾られている。記念館のレリーフはダ・ムコーヨーゼフと言う芸術家によって作られた。残念ながら礼拝堂の中は破壊されてしまった。ここにトルレイ・ヨーゼフや妻であったサケツラリ・イレーヌの墓がある。

行き方：

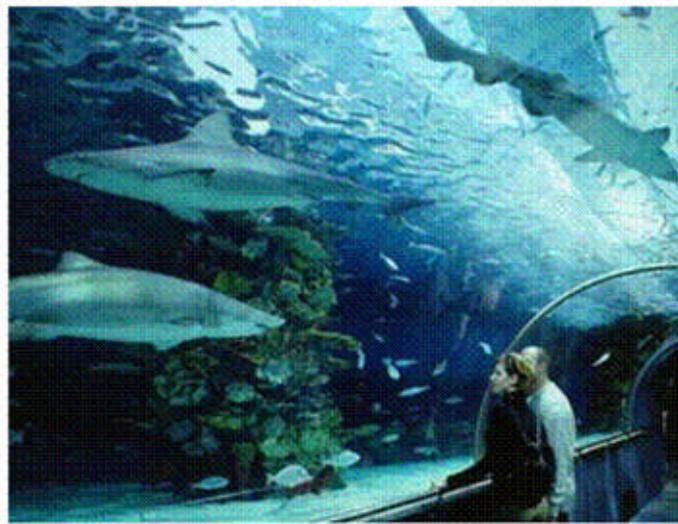
サワオヤイ・ヤェノー広場から歩いて10分ぐらいかかる。広場から教会の方に向かってまっすぐ行き、プレーバニア通りからシャルロー通りまで歩いて、そこで右にまがるとマウショレウムの塔が見える。

Tropicarium トロピカーリウム



中央ヨーロッパの最大の海水族館は2000年にオープンした3000m²のトロピカーリウム-オーチェアナーリウムである。ここでは色々な珍しい魚類や動物が紹介されている。動物が元気になるように、動物のまわりは動物が住んでいるところに近い環境にしている。常設の展示会は八つの部屋で行われている。

熱帯雨林の部屋に自由にとぶ珍しい鳥、ヤシの上にジャンプするサル、土の上でのんびりしているワニやカメなどの世界の色々な動物がいる。他の室でエイをなでることができる。水族館に六とうのサメが住んでいて、サメのトンネルを渡ると本当にサメが近くに見える。このトロピカーリウムはハンガリーで唯一のもので一見の価値がある。



住所：TROPICARIUM ÓCEANÁRIUM KFT、NAGYTÉTÉNYI ÚT 37-43. 1222 BUDAPEST

電話：+36 1 424 3000 www.tropicarium.hu

行き方：

町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：47番（始発はデアーク広場）その交通機関はなんでもいい。レプチュウシュ通り(lépcsős utca)で降りなければならない。ナジ・テーテーニ通りを渡るとカンポーナがある。

A Száz - Rudnyánszky kastély サーラズ・ルドニャヌスキ宮殿



ナジ・テーテーニの建物の中で一番印象深いものはドナウ川の隣にあるサーラズ・ルドニャヌスキ宮殿だ。宮殿の前にある公園はドナウ川まで広がっていたが、後にバロック様式に変更となった。宮殿近くのフランス式庭園には珍しい植物、噴水、像などで飾られている。宮殿のルドニャヌスキの部分の所有者はフゴナイ家だった。フゴナイ家のフゴナイ・ヴィルマはハンガリーの最初の女医だった。最近、建物の一部は応用

美術博物館になっている。ほかの部分で病気の子供の家として使っている。

行き方：

モーリツジグモンド広場から 33 番のバスでペトーフイ・シャーンドル通りまで行く。バス停を降りて、前のほうにちょっと歩くと左側からカシュテーユパルク通りが伸びている。

A Péter-Pál kápolna ペーテル-パール礼拝堂



1739-40年、黒死病がハンガリー全国を襲った。この時、クノッル・ジョジェフと彼の妻は礼拝堂を建てた。これは町の最初の石造りの教会だった。教会はバロック様式でできており、回りに町の最初の墓地がある。教会の前に立つ大きな木は、祖先の木と呼ばれていて、樹齢250年である。

行き方：

町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：47番（始発：デアーク広場）でサウォヤイ・ヤェノー広場まで。広場から教会のほうにまっすぐに行き、カルワーリアヘジ(Kálváriahegy utca)通りとの交差点を左にまがって、1分歩くとペーテル・パール通りと交差している角に礼拝堂がある。

ブダフォクのホテル

22区はブダペストの郊外で緑の多い静かな所だが、ブダペストの中心からも遠くなく、公共交通機関でも1時間くらいで行ける。静かな時間を過ごしたい人々にとってブダフォクは完璧なレクリエーションセンターである。ブダフォクにはきれいなホテルやペンションそしてゴルフクラブもある。

アクワーリウスホテル(Aquarius Hotel)



アクワーリウスホテルはナジ・テーテーニの静かな丘陵地帯に位置している。ホテルには40以上の便利な部屋がある。部屋の中でテレビ、エアコン、インターネットなどを使うことができる。ここは特に長期滞在者に向いています。

行き方：

モーリチジグモンド広場から 33 番のバスで Nagytétény-MÁV állomás まで。

住所：Hotel Aquarius, Nagytétényi út 372, 1225 Budapest

電話: +36 1 207 8100

ファクス: +36 1 207 6200

メール: hotelaquarius@hotelaquarius.hu

ベッルフロレペンション(Bell Flore Panzió)



ベッルフロレペンション家族でとまるのにちょうどよい。ペンションの中に化粧品屋、マッサージ、美容院、近くに（500メートルぐらい先）にはレストラン、テニス、プールがあり、乗馬をすることもできる。行き方：

150/250番のバスでコストラニ広場から(Kosztolányi tér)アディ・エンドレ通りまで。41番のトラムで（始発：Batthyányi 広場）だとケレンウォルジ（Kelen völgy）まで行くとある。

住所：1221.Budapest, Bencés u. 32.

電話: (+36 1)228 2374

ファクス: (+36 1)228 2341

メール: info@bellefleur.hu

ホテルワンドル(Vándor Hotel)

ホテルワンドルは国道6号線のそばにある。部屋に四つのベッドがあるので、家族や友達などの宿泊に最適。駐車場は大きいし安全である。レストランでお客様は定食やアラカルトの料理を選ぶことができる。

行き方：

町の中心から：バスー114、214、213番（始発：コストラニ広場）223E番（始発：アストリア）33番（始発：モーリチジグモンド広場）でボルコー通り駅まで。

ブダフォクのレストラン、カフェー

ボルカタコムバレレストラン-Borkatakomba étterem



ブダフォクのワインセラシステムを利用して創業したレストランは、この一帯の伝統的な職業（ワイン製造業）について紹介する役割も担っている。

ブダフォクのレストランの中では、このレストランが一番印象深い。ここでお客様は色々な伝統的なハンガリー料理や珍しいワインを味わうことができる。レストランは大きいので、グループでもよい。

このレストランでは、到着したお客様にアピタイザーが配られ、その後世界的にも有名なハンガリーワインが展示されている展覧会やワイン博物館を見ることができる。レストランには4つの部屋がある。

樽室：巨大な樽の中でろうそくの光という雰囲気の中、時間を過ごすのが楽しい。

樽室2：石灰岩に彫った中世時代の印象を残す部屋の壁は珍しい木彫りで飾られている。

劇場室 : これはレストランのメインルームで中にあるステージで民族ダンスの出し物を見ることができる。

チャルダ室 : チャルダはハンガリー民族の伝統的な踊りを意味する。この部屋にはかまがある。

住所 : 1222, ナジテテ二通り 6 4

電話 : 424-79-55/ 227-00-70

ファクス: 226-73-71

メール : borkatakomba@palacecatering.hu

行き方 :

町の中心から : バスー 1 1 4、2 1 4、2 1 3 番 (始発 : コストラニ広場) 2 2 3 E 番 (始発 : アストリア) 3 3 番 (始発 : モーリチジグモンド広場) でボルコー通り駅まで。

フラモカフェ. Flamo Cafe



コーヒーを楽しみたいなら、フラモカフェがおすすめ。ここで気持ちよいソファに座りながら、色々なコーヒーやおいしいシェークを味わうことができる。子供のために作ったプレイコーナーも楽しい。

住所 : 1223, ラーコーツィ通り 20./B

メール: info@flamocafe.hu

行き方 : コストラニ広場から 1 1 4 番のバスでラーコーツィ通り駅まで。

レロイカフェ Leroy Cafe



カンポナショッピングプラザ内にある。買い物につかえたら体を休めるのに最適。カフェからカンポナの真ん中にある噴水の景色が楽しめる。

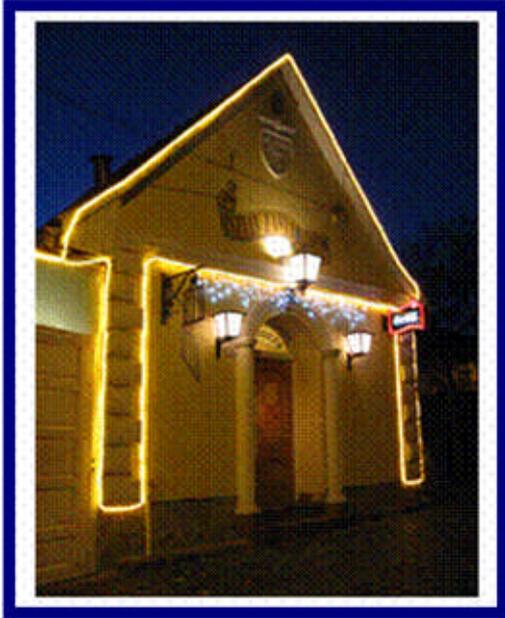
住所 : 1222, カンポナショッピングセンター、

ナジテテ二通り 3 7 - 4 3、
(<http://www.leroycampona.hu>)

電話 : 424-3434

行き方 :

町の中心から : バスー 1 1 4、2 1 4、2 1 3 番 (始発 : コストラニ広場) 2 2 3 E 番 (始発 : アストリア) 3 3 番 (始発 : モーリチジグモンド広場) でレプチャーシュ通り駅まで。



レストランの面白いひょうご：
入らなければ、二人とも飢え死に！

このレストランは庭があり、そこにテーブルがある。外は空気もいいし、景色もきれい。メニューはとてもおいしくて、あまり高くない。

住所：1 2 2 1, ブダフォク、マグドルナ通り 24,
(www.istvantanyavendeglo.hu)

行き方：

町の中心から：バスー1 1 4、2 1 4、2 1 3 番（始発：コストラニ広場）2 2 3 E 番（始発：アストリア）3 3 番（始発：モーリチジグモンド広場）トラム：4 7 番（始発：デアーク広場）でワーロシュハーザ広場駅まで。そこから歩いて2分。

三日間でまわるブダフォク

ブダフォクはきれいな見所、名所、印象深いレストランなどがいっぱいある。全部は1日で見られないので3日ぐらいは必要。

3日間の予定

最初の日：

朝ベッルフロールペンションで泊まる。（値段：個室：45€、二人部屋：55€）値段に朝食が含まれているので、ペンションの食堂で朝ごはんをいただく。（ビュッフェ式の食事）その後、マッサージを楽しむのもよい。ペンションには化粧品売り場、美容院もあるので女性たちにはうれしい。

午後のプログラム：

4 1 番のトラムに乗り、Budafoki elágazásで4 7 番のトラムに乗り替える。それからサウォヤイ・ヤェノー広場駅まで行く。すると、広場の真ん中にきれいな聖リポート教会が見える。教会を見た後、建物を回ると右にアンナ通りが見える。アンナ通りにはトルレイ城郭があるので必見。現在、城郭は研究所となっているので中には入れないがとても美しく大切な建物。その後、ちょっとサウォヤイ・ヤェノー広場の方に戻って、プレーバーニア通りとの交差点から右にシャルロー通りまで行く。するとここからトルレイマウショーレウムの塔が見える。残念ながら今はその記念館は開いていないが、外から見るだけでも楽しめる。その後、プレーバーニア通りにもどる。その通りと平行したペーテルーパール通りの角にペーテルーパール礼拝堂がある。ここまで回ると、きっとつかれておなかもすいているだろう。近くにイシュトウア

ンタニャレストランがある。この料理はとてもおいしい！このレストランはサワオヤイ・ヤエノー広場までもどって広場の左側に始まるマグドルナ通りを行くとある。

二日目：ハイキングの日

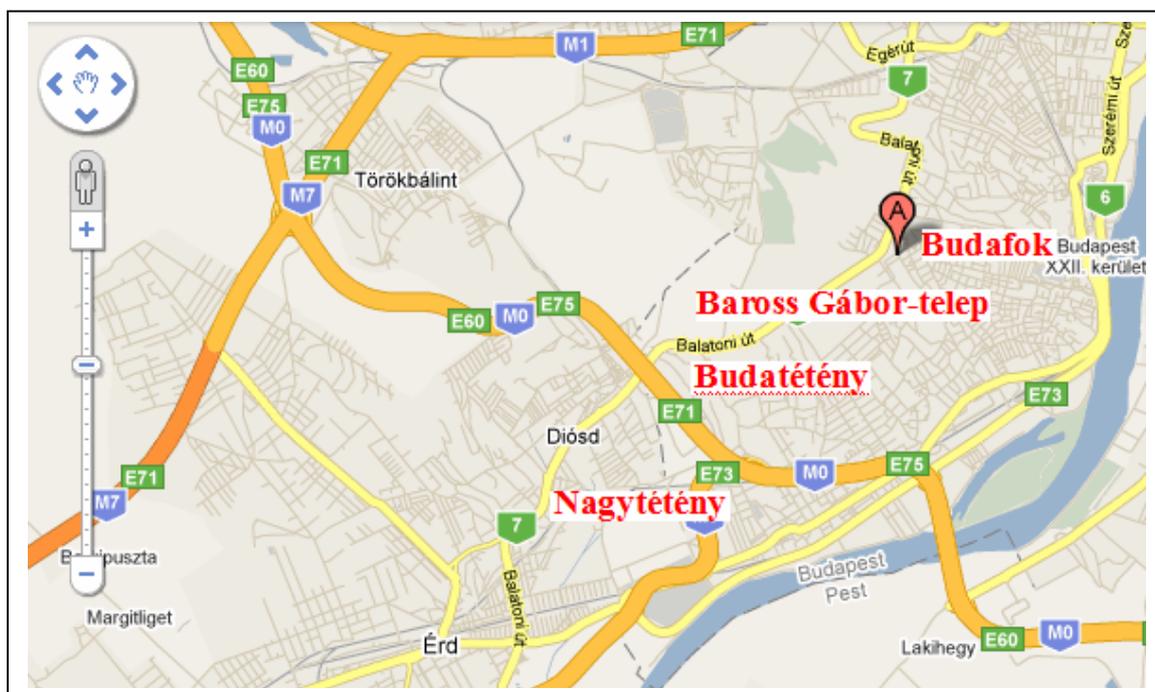
この日はブダフォクの自然を楽しむ日とする。まず、銅像公園まで行き、そこからテーテーニ高原を散策する。銅像公園の前をはしる小さいローカレシュ通りをまっすぐに行くと、すぐカマラ森に突き当たる。そこを右にまがって50メートルぐらい歩くと左に森の道が見える。その道の終点（森の真ん中）には、小さな草原があり、晴れたときに人々の遊び所になっている。遊具もあって子供にとっても楽しいだろう。草原から道がたくさん伸びている。一番大きい道は古い基地の残りや展望台のまで続く。最後に、疲れた体をナジ・テーテーニ通りにある有名なボルカタコンバレレストランで休め、夕飯を食べる。

三日目：

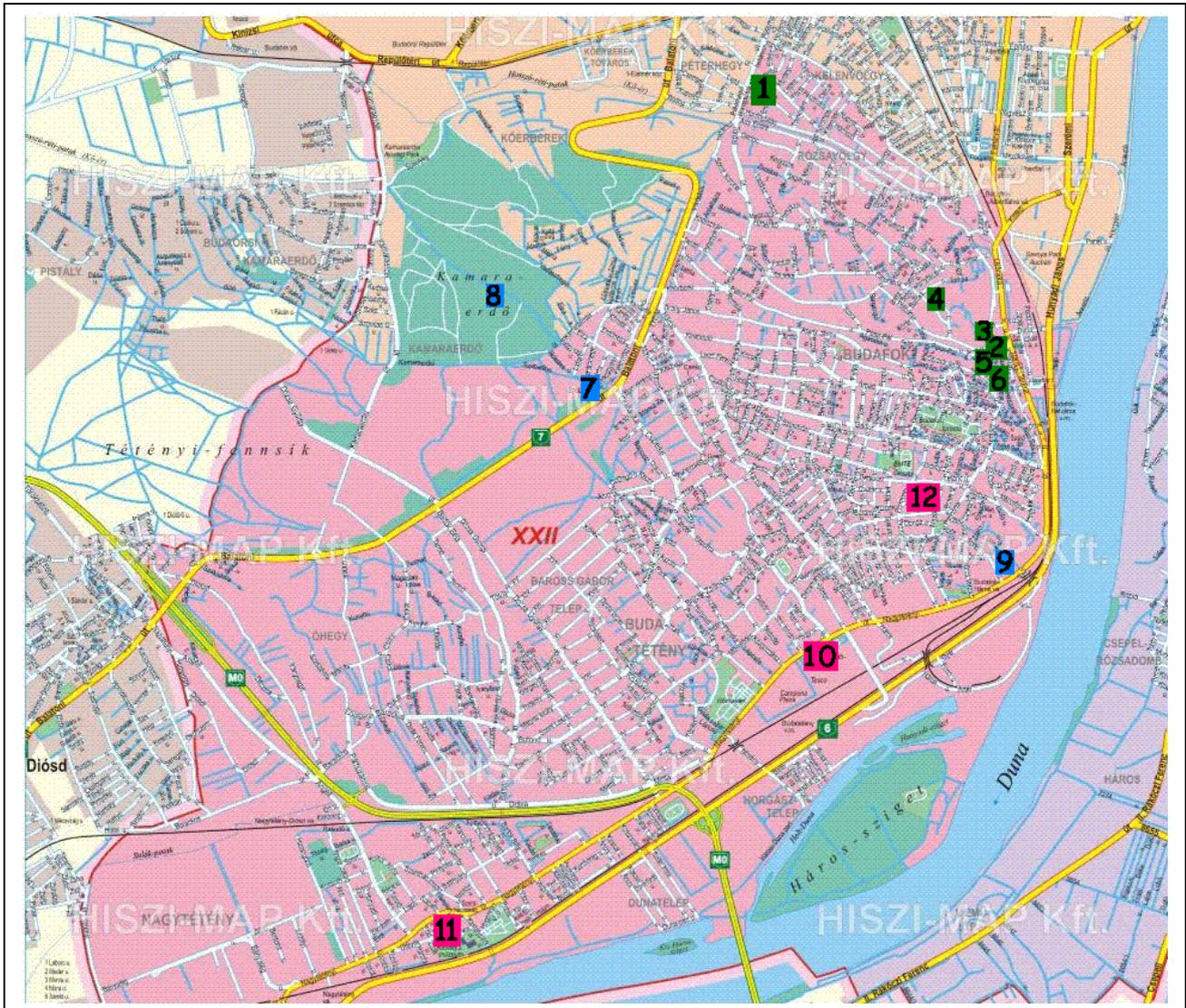
朝ごはんを食べたら、一日の半分をカンポーナショッピングプラザで過ごす。（ベッルフロールペンションから41番のトラムに乗り、後でBudafoki elágazásでバスに乗り換える。するとカンポーナまで行く）まずトロピカーリウムを訪問。ここは本当に面白くて、非日常的な世界で時間を過ごすのは楽しい。それからカンポーナの真ん中にあるレロユカフェーにコーヒーを飲み、ちょっと休憩。その後、33番のバスに乗って、サーラズ・ルドニャヌスキ宮殿を見に行こう。（午後6時まで開いている）最後にブダフォクの特別な名所、洞くつの住家を見に行く。

ブダフォクでは、乗馬、テニス、プール等などさまざまなスポーツも楽しめる。

皆さん！必ずブダフォクにいらしてください！



地図



- 1、ベッルフロールペンション (ベンセーシュ通り)
- 2、聖リポート教会 (サワオヤイ・ヤェノー広場)
- 3、トルレイ城郭 (アンナ通り)
- 4、トルレイマウショーレウム (シャルロー通り)
- 5、ペーテルーパール礼拝堂 (ペーテルーパール通り)
- 6、イシュトウアンタニャレストラン (マグドルナ通り)
- 7、銅像公園、テテニ高原 (0番の通り)
- 8、カマラ森
- 9、ボルカタコンバレストラン (ナジ・テテニ通り)
- 10、カンポーナ、レロユカフェー、トロピカーリウム (ナジ・テテニ通り)
- 11、サーラズ・ルドニャヌスキ宮殿 (カシュテーユパルク通り)
- 12、洞くつの住家 (ウエレーブ通り)